

## 静岡市食の安心・安全アクションプラン2019年度～2022年度 掲載事業および2019年度指標一覧

## Ⅰ. 食の安心の提供のための施策

## Ⅰ－１ 食の安全に関する情報の提供、公開を推進します

食の安全に関する正しい情報を得ることが、安心して食生活を営むための礎となります。その情報量は膨大である一方、時には健康被害拡大防止の観点から正確な情報の迅速な伝達が求められることがあります。消費者が必要とする食に関する情報をタイムリーに手に入れやすくするため、食の安全に関する情報を収集・整理し、公開・提供します。

## 基本的な取り組み事項

(１) 生産・流通から消費に至る食の安全に関する情報の収集に努め、提供、公開を推進します

事業名	事業内容	2019年度指標	担当課
1 市内の食品衛生法違反措置状況について報道関係者への情報提供やホームページへの掲載	市内の食中毒や違反措置状況をホームページに掲載することにより、市民に注意喚起をします。	被害拡大防止等のため公表する必要がある事件発生時、情報の更新を3日以内に行う	食品衛生課
2 事業者、消費者に対する食品や飲食危害に関する情報の提供	食品事業者に対しては、主に食品衛生協会を通じて、消費者に対しては各種メディアやホームページ、パンフレットを通じて情報を提供し、広い啓発広報を行います。	事件発生時、速やかに行う	食品衛生課
3 食品表示に関するパンフレットの配布等、情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品表示に関するパンフレットを配布します。</li> <li>・食品表示に関する資料や新聞記事を収集・整理します。</li> <li>・食の安全に関する新聞記事を収集・整理します。</li> <li>・市消費生活展で食品表示に関する展示やパンフレットの配布を実施します。</li> </ul>	講座で、食品表示に関するパンフレットの配布	生活安心安全課
4 特集コーナーを利用した関連図書の展示による知識の普及	関連図書の展示を行い、「食の安全」に関する知識を身につけてもらいます。	12館で実施	中央図書館
5 図書館における「食の安全」に関する資料の収集・提供	「食の安全」関連図書を収集し、提供します。	300冊程度購入	中央図書館

6	<b>食の安心・安全ホームページ「たべしずねっと」の運営</b>	消費者を対象に、静岡市の食の安全や食育、地産地消に関する情報を発信するホームページ「たべしずねっと」を管理・運営します。また、食の安全や食品表示の情報、「たべしずねっと」の新着情報などを掲載したメールマガジンを発行します。	事件発生時、情報の更新を3日以内に行う メールマガジンを12回以上発行	食品衛生課
---	----------------------------------	---	--	-------

## I－2 食の安心・安全に関する意見交換を推進します

食の安全性は、消費者、食品関連事業者、行政が連携・交流する中で確保されます。それぞれの取り組みを相互理解のもとに実施し、取り組みに対する信頼感を醸成することで食の安心を提供するため、消費者や食品関連事業者が意見を表明し、意見を交換できる場を設けます。

### 基本的な取り組み事項

(1) 消費者・生産者・事業者の意見を施策に反映させるよう努めます

事業名		事業内容	2019年度指標	担当課
7	<b>消費者による意見交換会の実施</b>	消費者と事業者による意見交換会を実施します。	1回実施	生活安心安全課
8	<b>監視指導計画（案）の公表及び意見の募集</b>	毎年度、食品の監視指導計画作成時に、ホームページなどで案を公表し、市民からの意見を募集します。	次年度監視指導計画（案）作成時にパブリックコメントを募集	食品衛生課
9	<b>静岡市食の安心・安全意見交換会の開催</b>	「静岡市食の安心・安全アクションプラン」について、生産者、消費者、学識経験者等で構成された「食の安心・安全意見交換会委員」からご意見をいただき、プランの策定や進行管理の参考とします。	2回実施	食品衛生課

## (２) リスクコミュニケーションを開催し、食の安心・安全について意見交換を進めます

事業名		事業内容	2019年度指標	担当課
10	生涯学習施設等でのリスクコミュニケーションの開催	市民団体からの依頼や、生涯学習施設の企画により開催される市政出前講座等を利用し、市民に食の安全への理解を深めてもらい、リスクコミュニケーションを行います。	申し込みに応じる実施率90%以上	食品衛生課 生涯学習推進課 生活衛生課
11	フレッシュマタニティ教室での食の安全講座開催	保健福祉センターで開催される妊婦教室の中で、食に関する講義と合わせて食品の安全性に関する時間を設け、リスクコミュニケーションを行います。	開催予定に対する実施率90%以上	各区健康支援課 食品衛生課

## I－3 食品表示の適正化を推進します

食品表示は、消費者に食品の情報を伝えるための重要な手段となります。消費者が安心して食品を選択するため、事業者に対する監視指導により食品表示を適正化し、消費者に対しては表示制度の理解促進を図ります。

基本的な取り組み事項

## (１) 食品表示の監視指導を実施します

事業名		事業内容	2019年度指標	担当課
12	食品販売店、製造業者へ立ち入り時の表示検査	食品販売店、製造業者への立ち入り時に表示のチェックを行い、食品表示の適正化を推進します。	随時実施	食品衛生課
13	食品表示の合同調査の実施	食品表示において、生活安心安全課、食品衛生課と、県の職員が合同で施設の立ち入り検査を行います。	随時実施	食品衛生課 生活安心安全課
14	不審・疑問表示の調査と広告の改善指導	食品表示法、健康増進法に係る食品表示違反、薬機法に係る無承認無許可医薬品の発見の通報に対して必要に応じて調査を実施し、表示や広告などの改善、指導を実施します。	通報に対し、必要に応じ調査、指導を実施	食品衛生課 生活安心安全課 生活衛生課

## (２) 食品表示制度に対する理解を促進します

事業名	事業内容	2019年度指標	担当課
15 <b>食品表示制度についての消費者向け講習会の開催</b>	食品表示制度や表示の見方、健康的な食生活への役立て方などをテーマとした講座を実施し、食品表示の正しい知識を身につけてもらいます。	2回実施	食品衛生課

## I－４ 食の安全に関する教育、啓発を推進します

食に関する情報を得ることは安心して食生活を営むための礎となりますが、単に情報を得るだけでなく、それを理解するためには、様々な学びの場が必要とされることがあります。庁内関係課がそれぞれの専門分野をもって、食の安全に関する知識を普及・理解する場を設けます。また、市民に身近な地元の生産者による食への取り組みを体験等の学びを通して知り、生産と消費が身近で目に見える地産地消の推進に取り組むことで、食への安心感を醸成します。

基本的な取り組み事項

## (１) 食の安全に関する知識の普及に努めます

事業名	事業内容	2019年度指標	担当課
16 <b>食生活改善推進員による地区活動</b>	・乳幼児から高齢者を対象に地域で食を通じた健康づくりを推進します。 ・地域の特徴にあわせた事業や統一テーマによる取り組みを実施します。	地区自主事業及び依頼・協力事業における①実施事業70回以上②市民参加者4,000人以上	健康づくり推進課
17 <b>食育普及啓発事業</b>	健全な心身と、豊かな人間性をはぐくみ、生涯にわたり健康を保持するため、食育の普及啓発をします。	①みなくる、伊勢丹ウェルネスパーク等を活用した啓発事業実施年間10回以上	健康づくり推進課
18 <b>食育応援団登録制度</b>	食に関する知識や経験を持つ企業・団体・個人に食育応援団として登録していただき、市民の食育の取り組みに協力します。	①食育応援団登録数32団体・個人 ②応援団の年間利用65回以上、利用者2000人以上	健康づくり推進課
19 <b>しずおかカラダにeat75</b>	大学等と連携し、若い世代を中心とした食育の推進をテーマとした事業を実施します。	大学生等による食育ワークショップでの食課題解決のための新規事業提案数5案以上	健康づくり推進課

20	こども園の食育研修	各公立こども園の食育事業を効果的に推進するための支援活動を研究します。	6回実施	こども園課
21	食の安全教室の開催	市内小学校等において、食中毒、食品添加物等のテーマで授業を行います。	申し込みに応じる実施率80%以上	食品衛生課 環境保健研究所
22	市内公立小中学校での「食に関する指導」の実施	児童生徒に食に関する正しい知識と望ましい食習慣が身につくように、公立小中学校で食に関する指導を実施します。	全小中学校で各学年1回以上実施	学校給食課
23	食の安全に関する講座の開催	食品表示講座等、食の安全に関する講座を開催します。	1回程度実施	生活安心安全課
24	食品添加物や細菌などの検査に関する市民講座の開催	小学生等を対象とした食品添加物についての食の安全教室及び、大人を対象とした食中毒についての市政出前講座等の市民講座を開催します。	・食の安全教室開催依頼について100%実施 ・市民講座実施後アンケートで満足度80%以上	環境保健研究所
25	お茶の美味しい入れ方教室の開催	小学校における総合学習の時間を利用し、お茶の入れ方を学ぶことを通じてお茶に対する味覚をはぐくみ、お茶を中心とした食育を図るとともに、本市基幹産物であるお茶の啓蒙・消費促進を図ります。	72校で実施	農業政策課
26	自然体験活動における食育活動の推進	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家の利用団体及び主催事業のプログラムの中で「命をいただく活動」として、井川地区で養殖されたアマゴをさばいて、串焼きにして食べる活動を行っています。また、主催事業の中で、椎茸の菌打ちや、山菜の天ぷらを揚げて食べる事業を行っています。	25回実施	教育総務課

27	環境に優しい野外炊飯活動の推進	南アルプスユネスコエコパーク 井川自然の家の利用団体及び主催事業参加者に、「食材料」「薪」「水」を大切に使い、野外炊飯を行うエコクッキングの指導を行っています。	30回実施	教育総務課
28	食の安心・安全に関する講座の開催	各生涯学習施設における事業として、食の安心・安全に関する講座を開催します。	37施設中10施設で開催	生涯学習推進課

(2) 生産者、食品事業者、消費者等の交流活動を推進し、生産と消費が身近で「目に見える地産地消」の推進に努めます

事業名		事業内容	2019年度指標	担当課
29	地産地消を学ぶ講座の開催	各生涯学習施設における事業として、地元食材の活用や地域の食文化について理解を深める講座等を開催します。	37施設 25施設で開催	生涯学習推進課
30	「ZRATTO!しずおか」による情報発信	市民（消費者）の地場産農産物の利用促進を図るため、ホームページ「ZRATTO!しずおか」を利用して安心・安全な地場農産物を購入できる直売所や観光農園等を紹介します。	4回以上（随時更新）実施	農業政策課
31	農業まっりの開催	農産物の紹介や販売を通して生産者と消費者の交流を図るための事業に要する経費に対し助成を行います。	1回実施	農業政策課
32	しずまえ漁業見学事業の実施	しらす船びき網漁業見学、桜えび漁体験学習、セリの見学、水産加工工場、マグロ冷凍倉庫見学の実施や補助を行います。	漁業見学に関する事業を2回実施	水産漁港課

３３	しずまえ新聞の発行	しずまえの漁業や水揚げされる水産物、しずまえ豆知識、魚料理のコツなどを掲載し、市内小中学校へ配布します。	２回、市内小中学校の全児童・生徒約５万人に配布。	水産漁港課
３４	学校給食における地場産物を取り入れた献立の提供	学校給食における地場産物の活用推進を図ります。	月１回以上実施	学校給食課

## I. 食の安全の確保のための施策

### II－１ 生産、調理、製造、加工段階における食の安全確保を強化します

食の安全を確保するためには、農林水産物の生産から食品の販売に至るまでの食品供給の各段階で適切な取り組みを実施する必要があります。生産段階においては、まず環境に配慮することが必要であるため、そのような取り組みへの支援をおこないます。調理、製造および加工段階においては、監視指導や食品検査の実施、ならびに事業者に対する衛生教育を実施することで、食品に起因する健康被害の発生を防止します。

#### 基本的な取り組み事項

##### (１) 環境にやさしい農業生産を推進します

事業名		事業内容	2019年度指標	担当課
３５	エコファーマーの推進	環境に配慮した農業生産方式に取り組む農業者を認定します。	121人	農業政策課
３６	クリーン農産物産地育成事業	農業者団体が行う、農業が市民の生活や環境に与える影響を軽減するための事業に要する経費に対し助成を行います。	13団体	農業政策課

## (２) 食品の調理、製造、加工段階における監視指導を行います

事業名		事業内容	2019年度指標	担当課
37	学校給食の食材の安全確保	安全な学校給食の実施に資するため、各施設で使用食材及び調理済み食品の定期検査を実施します。	1回以上実施	学校給食課
38	市内で調理、製造、加工した食品の製造業者等の監視指導の実施	各食品や施設のリスクをもとに年度ごとに設定された監視指導計画に基づき、市内で食品を取り扱っている施設への立ち入り検査を行います。	監視指導計画に対する実施率 90%以上	食品衛生課
39	大規模食鳥処理場での検査	大規模食鳥処理場で、鶏肉の検査をします。また、鳥インフルエンザ防疫訓練も合わせて実施します。	監視指導計画に対する実施率 90%以上	食品衛生課
40	こども園の給食室巡回、指導	給食室内の衛生管理、事務などの支援を行います。	300回	こども園課
41	イベント等の情報収集	市内開催の大規模イベント等での飲食店関係出店情報について、庁内各課に情報提供を依頼し、出店に適さない食品が販売されることを防止します。	庁内各課へイベント情報の提供を依頼する。	食品衛生課 保健所清水支所
42	イベント等の指導	市内で行われるイベントについて、開催者に対し提供食品の事前指導、説明会、監視指導を必要に応じて行います。	開催者からの相談に対する実施率100%	食品衛生課 保健所清水支所



## (3) 食品の検査を行います

事業名		事業内容	2019年度指標	担当課
4 3	<b>市内で生産、調理、製造、加工した食品の収去検査の実施</b>	各食品のリスクをもとに年度ごとに設定された計画にもとづき、市内で生産、調理、製造、加工している食品を事業者を提供してもらい、環境保健研究所に依頼して細菌あるいは理化学検査を実施します。	監視指導計画に対する実施率 9 0 %以上	食品衛生課 環境保健研究所

## (4) 食中毒の未然防止の周知・啓発を行います

事業名		事業内容	2019年度指標	担当課
4 4	<b>こども園、保育園給食衛生研修会の開催</b>	私公立こども園、保育園の給食業務担当者を対象に食品衛生に関する研修を行います。	15回実施	こども園課
4 5	<b>学校給食衛生研修会の開催</b>	学校給食における食中毒の防止、衛生管理の徹底、調理従事者の衛生意識向上を目的に、各施設の衛生責任者を対象とした研修会及び給食従事者を対象とした研修会を開催します。	2回以上実施	学校給食課
4 6	<b>食品等事業者に対する衛生講習会への講師派遣</b>	食品等事業者の希望に応じて講師を派遣し、食中毒予防、衛生管理などをテーマとした講義を行います。	申し込みに応じる実施率 9 0 %以上	食品衛生課

## Ⅱ－ 2 流通、販売段階における食の安全確保を強化します

食の安全を確保するためには、農林水産物の生産から食品の販売に至るまでの食品供給の各段階で適切な取り組みを実施する必要があります。流通および販売段階においては、監視指導や食品検査の実施、ならびに事業者に対する衛生教育を実施することで、食品に起因する健康被害の発生を防止します。市内の流通食品が多く集まる中央卸売市場においては、品質管理行動マニュアルを定めて安全管理を進めます。

### 基本的な取り組み事項

#### (1) 食品の流通、販売段階における監視指導を行います

事業名	事業内容	2019年度指標	担当課
4 7 <b>デパート、スーパーマーケット、流通センター等食品販売施設の監視指導の実施</b>	監視指導計画にもとづき、大型店、スーパー、流通センターなど食品販売施設の監視指導を行います。	監視指導計画に対する実施率 90 % 以上	食品衛生課

#### (2) 食品の検査を行います

事業名	事業内容	2019年度指標	担当課
4 8 <b>輸入食品や広域流通食品等の収去・買い上げ検査の実施</b>	主に中央卸売市場において、輸入食品や広域流通食品を事業者提供してもらい、または買い上げ、細菌あるいは理化学検査を環境保健研究所に依頼して実施します。残留農薬の検査や容器包装に有害物質が含まれていないかどうかの検査も行います。	監視指導計画に対する実施率 90 % 以上	食品衛生課 環境保健研究所
4 9 <b>いわゆる健康食品の買い上げ検査の実施</b>	健康食品を買い上げし、医薬成分等が含まれていないかの検査を環境保健研究所に依頼し確認します。	10検体実施	生活衛生課 環境保健研究所

## (３) 中央卸売市場における食品の安全管理を進めます

事業名		事業内容	2019年度指標	担当課
5 0	<b>卸売市場品質管理の高度化の推進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・品質管理実施状況を確認します。</li> <li>・品質管理の高度化を推進するため必要な施設の改修を進めます</li> <li>・品質管理の高度化の推進に伴う衛生措置に関する講習会を実施します。</li> </ul>	品質管理の高度化の推進のため、市場内への鳥類の侵入防止措置を継続的に実施するとともに、経営展望の品質管理の高度化に向けた戦略を推進する。	中央卸売市場

## Ⅱ－３ 食品関連事業者の自主衛生管理を進めます

食の安全を確保するためには、食品を供給する各段階の食品関連事業者による適切な自主衛生管理が必要です。2018年の食品衛生法改正により、すべての食品関連事業者にHACCPに沿った衛生管理が義務付けられたことを受け、HACCP未導入の事業者に対しては導入推進を、HACCP導入済みの事業者に対しては実施にあたっての疑問等に対するアドバイスをおこないます。また、事業者でつくる団体等に対して働きかけ、食の安全の確保に向けて協働する事業をおこないます。

基本的な取り組み事項

## (１) 食品関連事業者によるHACCPに沿った衛生管理を進めます

事業名		事業内容	2019年度指標	担当課
5 1	<b>HACCPについての事業者からの相談受付と助言</b>	HACCPに沿った衛生管理の導入について食品関連事業者への支援を実施します。	相談に応じる対応１００％	食品衛生課

## (２) 事業者との連携を通して、食の安全確保を進めます

事業名		事業内容	2019年度指標	担当課
5 2	<b>食品衛生協会及び各食品衛生組合加盟事業者との連携</b>	食品衛生協会及び各食品衛生組合加盟事業者と連携し、自主衛生管理の推進を行います。	協力事業の実施	食品衛生課

## Ⅱ－４ 調査・検査技術の充実を図ります

食品の安全性を確保するための施策は、科学的知見に基づいて実施される必要があります。科学的知見の基礎となる、食品に起因する危害の調査技術や食品の検査技術を充実させます。

### 基本的な取り組み事項

(１) 食品の安全性確保対策の基礎となる調査、検査技術の充実を図ります

事業名	事業内容	2019年度指標	担当課
5 3 <b>食品衛生検査施設の業務管理要領（G L P）に則った検査の実施</b>	規格基準が定められている食品及び添加物等の検査を実施します。	食品収去計画に基づいた検査の完全実施	環境保健研究所
5 4 <b>適切な項目の検討や食の安全を確認する調査の実施</b>	適切な項目の検討や食の安全を確認する調査を実施します。	新規品目・機器による妥当性評価の実施	環境保健研究所
5 5 <b>食品衛生監視員の技術向上</b>	食品衛生に関する研修会や勉強会へ参加したり、適時情報収集を行ったりすることで、食品衛生監視員の技術向上を図ります。	①国、県等で実施される講習会に参加 ②公衆衛生研究会で発表	食品衛生課

## Ⅱ－５ 危機管理体制を充実させます

食品に起因する危害の発生時、または発生するおそれのある事態の発生時に迅速に対処するための体制を整備し、危害の拡大防止を図る必要があります。関係機関との連携を密にし、健康被害の拡大を防止します。また、すでに発生した危害の原因を調査することで再発防止につなげ、食の安全を確保します。

### 基本的な取り組み事項

(１) 危機が発生した場合の被害拡大防止及び再発防止に努めます

事業名	事業内容	2019年度指標	担当課
5 6 <b>飲食に起因する危害発生時の、詳細で正確なデータの提供</b>	食中毒調査が発生した際の保健所からの依頼に基づく試験検査及び結果を報告します。	食中毒疑い等の検査依頼について迅速に対応	環境保健研究所
5 7 <b>食品に関する感染症発生時の拡大防止</b>	腸管出血性大腸菌および細菌性赤痢等の発生届出受理後に患者宅を訪問し、聞き取り調査を実施します。	事案発生時に速やかに対応	保健予防課
5 8 <b>市民からの食品衛生に関する苦情・相談の対応</b>	窓口、電話、電子メールによる食品の苦情・相談について対応します。	苦情・相談に対応100%	食品衛生課